



生き生きとした目と心をもった子 まつぼっくり

発行：中西別小学校
校長：打川 真由美
PTA会長：伊藤 基一郎
育成会会長：関口 政広

中西別小学校だより・PTAだより・育成会だより No.9 令和3年11月30日(火)発行

読書で語彙力と豊かに生きる力を高める

中西っ子の内側には豊かで柔らかな感性と思いが満ちています。感じたことやあふれる思いを誰かに伝えたり分かち合ったりする場面で、言葉の力が生かされます。語彙力を高め生き生きと表現し伝え合う力を豊かにしていくことは、子ども達のこれからの人生を下支えしていくことにつながり、教育の大切なミッションです。

1学期の中西っ子の学校評価アンケート結果を受けて、5年生と6年生が2学期の全校目標を「たくさん本を読もう」に設定しました。目標達成に向けて2学期は、子どもたちと先生方が考えた読書推進の作戦が繚乱し、今、学校は、まるで図書館や本屋さんのような読書環境です。11月は特に、本に触れ、本に親しみ、本の世界を楽しみながらどんどん読んでどんどん語る場面がいっぱいでした。

私の母校の校長先生が「本は自分を映す鏡」とお話しくださったことを、今もよく思い出します。おもしろい・この人物が好き・これは許せない・こんな風に生きてみたい・読書を通じて自分自身の心を映し見つめることができるのなら、人格の基盤形成期である小学校時代の読書は、大切な経験値かもしれません。

全校で読書にチャレンジする期間は12月も継続して冬休みへとつなぎます。幼稚園時代に毎日絵本の読み聞かせをしてもらって「絵本大好き！」になって入学する中西っ子たちです。これから始まる長い冬が、たくさんの本と出会って語彙力と豊かに生きる力を高める「読書の冬」になってくれることを願っています。

「たくさん本を読もう」大作戦

動物が出てくる絵本をたくさん読んでいる1年生



「おはなしどうぶつえん」作成



5・6年生が1・2年生に読み聞かせ



斉藤隆介さんの作品をたくさん読んでいる3年生



本のタワーでPR

ブックトークで本の世界を広げる4年生

昔話をたくさん読んでいる2年生



「むかしばなしおもしろや」で読書の世界を広げる！



絵本ポップ



幼小読み聞かせ



読書ランキング



漫画タワー



ファンタジーをたくさん読んでいる5・6年生

おすすめします！「親子読書」

私の出身地秋田県横手市では、小学校で「親子読書」をしていました。親子で同じ本を読んで感想を交流するのです。これが結構楽しくて習慣化し、大人になって故郷を離れてからも、おもしろい本に出会うと父と本を送り合って読み合いました。本を通して好きな作家やジャンル、心が強く動くところもわかってきて、理解し合い様々な会話をするきっかけにもなりました。子ども達が読書にチャレンジしているこの冬、ご家庭でも「親子読書」「家族読書」をしてみたいはかがでしようか。